

# 湯俣キタゴヨウマツ・カラマツ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局 中信森林管理署
所在地	長野県大町市
面積	63.76 ha
設定年月日	平成3年3月31日（平成8年区域拡張）
保護林の概要 （設定目的）	カラマツ、キタゴヨウマツ、コメツガが大群落を形成していることから、遺伝資源としての保存を目的とする。



## モニタリング調査の概要

実施年度	令和5年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（毎木調査・植生調査）を1プロット、森林概況調査として植物相調査・定点写真撮影を実施し、過年度の調査結果と比較した。
結果概要	当保護林は、高瀬川源流沿いの左岸に指定されており、カラマツを主体としてキタゴヨウマツ、コメツガ、広葉樹等の混交する天然林である。枯損や剥皮等の目立つ変化は確認されていないが、隣接する鷲羽岳・硫黄岳・高瀬渓谷生物群集保護林ではニホンジカの被害が確認されているため、今後も定期的にモニタリングを継続することが重要である。 また、高瀬川の氾濫による河川浸食が進行しており、一部林分の立木が消失している。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。